

2015年度事業報告書  
2015年4月1日から2016年3月31日まで

特定非営利活動法人九州環境サポートセンター

1. 事業の成果

2015年度は、前年に上げた「九州環境市民フォーラム」や「エコライフ・カフェ」等の交流や学びの場を更に拡大し、九州各県へのネットワーク形成を充実させるべく、事業の頻度も増やした。同時に、助成金セミナーやスキルアップセミナーなど、深い学びの場も更に数多く提供し、市民団体の課題解決を全面的にバックアップしました。更に、相談・コンサルティング費を高め、連携や発信等のサポート強化をはかりました。

2. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(1)九州の環境保全活動に係る情報の受発信に関する事業	環境情報の発信と提供	通年	事務所	60	九州内の市民 1,000人程度	1,432
(2)九州の環境保全活動を行う市民団体・企業・行政・地域団体のネットワーク支援・促進に関する事業(定款事業)	エコライフ・カフェ	4・5・9・10・12・1・2月	九州各県	20	188	3,559
	九州環境一斉アクション		各所	20	30	
	第12回九州環境市民フォーラム in かごしま	1月	鹿児島県	20	のべ153	
(4)九州の環境保全活動を行う市民団体・企業・行政の運営又は活動に関する助言又は援助に関する事業	環境市民団体助成金セミナー	11月	福岡県	6	九州の市民環境団体35	2,044
(6)地域が抱えている環境の課題解決に関する事業	相談・コンサルティング	通年	事務所および団体活動場所	20	九州の環境市民団体30団体	885
(7)地域環境に関する調査研究事業	調査	通年	事務所および各県	10	30件	540
						8,460

なお、(3)九州の環境保全活動を行う市民団体・企業・行政・地域団体の九州の環境保全等に関するコーディネート事業、(5)九州の環境保全活動に係る国・地方公共団体・民間団体からの受託・協働事業、(8)上記事業に関する出版事業、(9)その他、この法人の目的を達成するために必要な事業は2015年度は実施をしなかった。

特定非営利活動法人九州環境サポートセンター  
2015年度事業報告（詳細）

● 事業実施の方針

九州環境サポートセンターは、九州の豊かな環境を次世代に引き継ぐために、各地で活動している市民団体をはじめ企業・学生・行政等に対し、環境情報の発信や活動・組織運営に関わるノウハウの提供を行います。

また、各地の環境活動に関わる課題・問題点を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換か出来る場を提供するとともに、九州一円のネットワークを構築し、九州圏内の環境活動をサポートします。

□ 平成 27 年度は、九州環境市民フォーラムやエコライフ・カフェ等の交流や学びの場を広げ、九州各県へのネットワーク形成を重点的に行い、同時に、助成金セミナー・スキルアップセミナー等深い学びの場を提供し、市民団体の課題解決を全面的にバックアップしました。更に、相談・コンサルティング機能を高め、連携や発信等のサポート強化をはかりました。

**【1】情報発信に関する事業**

[事業概要]

市民活動の一番のニーズである助成金情報や企業・行政からの最新情報など様々な情報を活動市民団体に提供し、活動がより活性化し、組織の基盤強化が進むよう情報支援を行います。

また、会員等の活動団体からの活動告知や活動報告、団体紹介等定期的な情報提供を行い、活動団体の活動支援や会員の組織基盤強化に寄与します。

[ 成 果 ]

PCおよびソフト整備を進め、情報の随時発信やメルマガ、フェイスブックなどの発信を行うことができた。

① 活動支援としての情報発信

市民活動の一番のニーズである助成金情報や企業・行政からの最新情報や様々な情報を活動団体に提供し、活動がより活性化し、組織の基盤強化がすすむよう情報支援を行った。

② 活動団体の事業・活動の広報・告知支援を行う。

ホームページ、メルマガ、FaceBook、DMなどで、会員等の活動団体からの活動告知や活動報告、団体紹介等定期的な情報提供を行い活動団体の活動支援を行いました。

また、新年度ホームページのリニューアルにむけ作成中である。

	HP	メルマガ	Facebook
配信数	月4回更新 (5月開始)	月4回更新 (52週220回)	260回
配信区別	組織の情報ベース 来訪型	配信型	通過型
配信内容	組織情報、主催等の 募集および事業報 告、会員訪問記事、 環境情報、他	助成金、補助金、委託事 業、7つの支援事業、会員 紹介、事業案内、イベント 報告、他	主催情報、活動報告、アン ケート、会員の環境活動情 報、環境活動情報等

## 【2】市民の意識啓発に関する事業

環境活動への意識啓発と環境市民活動の理解促進を計る支援活動を行います。また、九州各県の会員とネットワークを組み、九州の環境活動ネットワークによる社会の意識啓発を促進します。

### 〔活動概要〕

九州一斉環境アクションとして、九州全県に渡り、市民団体と一般市民が一斉に同じ環境の取り組みをし、団体を知りながら、環境意識を高める事業の計画および、会員や事業参加者を中心にヒヤリングを行った。

ワークショップなどでのアイデア出しでは、主体的な企画案を創造いただいた。今後さらに連携を積み、九州一斉の活動が進められるよう準備する。

## 【3】環境市民活動団体等の交流に関する事業

会員を中心とする学びと交流の場を提供するとともに、会員と市民、企業、行政等間の情報交換やネットワークの場、マッチングの場を提供します。

### 【エコライフ・カフェ】

#### 〔事業概要〕

九州各県において、情報交換及びネットワークを作りながら、講演やワークショップ等を取り入れ、気軽な交流の場を提供する

開催県	開催日	参加者（目標）	達成率	入会者数
熊本①	4月 8日（水）	9名（5名）	180%	1団体（正1）
熊本②	5月10日（日）	15名（10名）	150%	3団体、2人（正4、賛1）
鹿児島	9月6日（日）	63名（20名）	315%	1団体
福岡	9月29日（火）	11名（20名）	55%	1団体
熊本③	10月14日（水）	20名（10名）	200%	1団体
熊本④	12月2日（水）	7名（10名）	70%	0
熊本⑤	1月13日（水）	9名（10名）	90%	0（2016年に入会）
宮崎	1月16日（土）	16名（20名）	80%	0
長崎	2月 4日（水）	12名（20名）	60%	0（2016年に入会）
熊本・玉名⑥	2月10日（水）	10名（10名）	100%	0（2016年に入会）
大分	2月20日（土）	8名（20名）	40%	0
佐賀	2月23日	8名（20名）	40%	0
	集計	188名（175名）	107%	8口

#### ○ 事業名：エコライフ・カフェ in 熊本

日時：2015年4月8日（水）18：30～20：30

会場：NPO 法人九州環境サポートセンター

目的：①熊本県の環境NPO等の、資金調達知識向上、企画書（書き方）スキルアップ

②九州環境サポートセンターと熊本県の環境NPO等、また参加者同士のネットワーク構築

③熊本県の環境NPO等の活動情報、ニーズ収集。「環境市民活動助成金セミナー」の集客

対象：熊本県または近隣県の環境NPO・企業・行政・個人

参加費：一般500円、会員無料 / 参加者実数：9名 / 入会者1団体/人

内容：

「資金調達—その前に」ワークショップ

・発想を広げるワークショップ（15分）

①四角（□）から思い浮かぶものを30～50個上げる

②自分の自慢（ここががすばらしい）100上げる

☆「事業の成果」をどう表すか

- ・マイストーリーを語る（20分） 「今の活動(仕事)をはじめた原点は何ですか？
  - ・エレベータートーク(25分) 一分間で自分の活動について話す
  - ・ステークホルダー（20分） 自分(団体)をとりまく人達(顧客)
- NPO 法人九州環境サポートセンターの事業説明と平成 27 年度予定について  
自己紹介、名刺交換

成果:

- ・ワークショップ取り組みに大変活気あるワークショップとなった。自分自身や団体について振り返る、良いきっかけになったと満足度が高かった。
- ・熊本県内の会員のみならず、福岡県、阿蘇からの参加者もあり、様々な分野の活動の取組みについて情報交換を持てた。
- ・更に掘り下げたワークショップの希望提案が出るなど、参加者の新年度への意欲を感じられた。

#### ○ 事業名エコライフ・カフェ in 熊本

日時: 2015 年 5 月 10 日(日) 14:00~18:30

会場: NPO 法人九州環境サポートセンター

目的:

- ①熊本県の環境 NPO 等の、ドイツの環境の先進事例を学ぶことへの支援と情報提供。「第 18 回環境ボランティアリーダー海外研修」へ応募希望者への情報提供やコンサルテーション
- ②Q サポと熊本県の環境 NPO 等、また参加者同士のネットワーク構築
- ③熊本県の環境 NPO 等の活動情報、ニーズ収集。「環境市民活動助成金セミナー」の集客

対象: 熊本県または近隣県の環境 NPO・企業・行政・個人

参加費: 一般 1000 円、会員 500 円 / 参加者: 15 名 / 入会者: 5 団体/人

内容:

- ・「子どもの力を伸ばす場づくり 3つのポイント」
  - 講師: 藤浦清香氏 (NPO 法人森の学校楠学園)
  - ・ドイツ研修の紹介と相談会 藤浦・立山
  - ・事業説明と平成 27 年度予定について、質問受付など
- アンケート記入

成果:

- ・参加者のほとんどが講演内容に満足され、今後の自身の活動にも役立てたいと感じた人が多かった。講師との質疑応答も活発に行われた。
- ・参加者同士の交流も多くあり、それぞれの活動フィールドへの相互訪問など、今後の交流について積極的な参加者も多く見られた。
- ・日曜日という事もあり、保育園・教育現場で実践される方々の参加が多かった。
- ・熊本市内のみならず、合志・玉名・美里・阿蘇、福岡県からの参加者も 2 名あり、研修内容の需要が高い事を実感した。海外研修への興味のみならず、「森のようちえん」「自然環境でのフリースクール」の運営や成果にも関心を持つ方々が集まった。
- ・企画・広報に関しては、幼児教育の専門家の広報協力やアドバイスをいただいた事(梅田旧理事より)が広報効果に繋がり、理事の協力の大切さと、データの構築整理を進めたいと思う。・ターゲット(保育園、幼児教育実践者、環境リーダー)に合わせた講師選定

改善

- ・エコライフ・カフェの進行上で、質疑応答や発言に偏りが生じない配慮をして行く⇒ストップウォッチ等の利用。考えをまとめる時間・書き出す時間を設けてからの発表・質問時間へ移行するなどの工夫をする。
- ・参加者の中には、基本的な知識以上の情報を求めている方も居るため、紹介資料や、講師とのコミュニケーション等、ステップアップするきっかけも配慮して構成出来

るようでありたい。

○ 事業名：エコライフ・カフェ in 鹿児島

日時：2016年9月6日(日) 14:00~17:30

会場：かごしま環境未来館2階多目的ホール

目的：

- ①交流…団体間、Qサポ間、中間支援団体間での交流促進
- ②ワークショップによる組織基盤整理サポート
- ③鹿児島県の環境NPO等の活動情報ニーズ収集。他事業への集客。

対象：

鹿児島県の環境NPO等で、環境市民活動助成金セミナーに興味のある市民・団体・企業・行政

参加費：無料 / 参加者：63名 / 入会者：1団体/人

協力：かごしま環境未来館

内容：

活動事例発表：

- ①NPO法人探検の会…地域の歴史とまちづくり・環境づくりの手法について
- ②NPO法人食の家族…安心安全の生産者と消費者をつなげる仕組み
- ③松元土地改良区…外来種対策
- ④ひびきっず…ものづくり

※発表は各15分×4団体

環境活動に関するワークショップファシリテーター 立山

- ・テーマは人材と広報力
- ・自分たちの組織を確認しながらミッションやビジョンを目指すための人材とその獲得について考える
- ・また、自組織の顧客を明確に設定することによる戦略を促す公益財団法人かごしま環境未来財団事業課長塩川哲郎

成果

- ・ワークシートを用意することで、参加者は帰ってからさらにステップアップするための資料になるのではないかと。

改善

- ・より効率的な訪問方法の検討
- ※他事業への反映（よかった点）
- ・理事関連組織との協働や連携

○ 事業名：エコライフ・カフェ in 福岡

日時：2015年9月28日(水) 18:30~20:30

会場：和白地域交流センター（コミセンわじろ）第2会議室A+B

目的：

- ①11/7開催の「環境市民活動助成金セミナー」に向け、資金調達初級者の団体、これまで事業収入や助成金、補助金などに頼る事のなかったNPO団体や市民グループを対象に、助成金を利用する意味や実際の助成金申請実践の場
- ②九州環境サポートセンター福岡県の環境NPO等、また参加者同士のネットワーク構築
- ③熊本県の環境NPO等の活動情報、ニーズ収集。「助成金セミナー」の集客

対象：福岡県または近隣県の「環境市民活動助成金セミナー」に興味のある市民・団体・企業・行政

参加費：一般500円、会員無料 / 参加者：20名 / 入会者：1団体/人

共催・協力協力：手光えこびれっじS・O・I・L、土居自然学校

内容：

- ・事例紹介  
手光えこびれっじの紹介後、助成・補助金事業の活用事例やこの資金調達による経営（収

支) 構造を明らかにするとともに、助成申請の失敗談を分析し、なぜ採択されなかったのか、どうすれば採択されるのかを解説いただいた。

・ワークショップ

1. 助成申請を行う事が組織基盤の見直しや整備に役立つ事を踏まえ、助成申請のキーワードを振り返る。
2. 1つの助成金を例とし、HPや要項からキーワードを見いだす等、申請書の書き方も解説。
3. 具体的な助成や事業相談(理事・事務局で個別対応)

成果:

1. 会場の規模は適切な広さが確保でき、交流も活発に行えるスペースがあった。
2. 特に、開始前・交流時間等に、助成相談・事業相談が理事・事務局にあり、今後の会員づくりやネットワークにつなげられるように取り組みたい。

改善

1. 福岡に適した広報が出来たかどうか、助成セミへの誘導イベントとして効果があった⇒、北九州市市民活動サポートセンター・福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」・NPO法人エコネットふくおか(臨海3Rステーション)をエコライフ・カフェ翌日に訪問。今後の福岡県内での助成金セミナーおよびエコライフ・カフェの企画、集客にも協力連携の依頼を挨拶に回った。各地域の環境団体支援を相互に協力支援する事について、話し合いができた。

○ 事業名: エコライフ・カフェ in 熊本

日時: 2015年10月14日(水) 18:30~20:30

会場: NPO法人九州環境サポートセンター

目的:

①11/7開催の「環境市民活動助成金セミナー」に向け、資金調達初級者の団体、これまで事業収入や助成金、補助金などに頼る事なかったNPO団体や市民グループを対象に、成金を利用する

意味や実際の助成金申請実践の場

②九州環境サポートセンターと熊本県の環境NPO等、また参加者同士のネットワーク構築

③熊本県の環境NPO等の活動情報、ニーズ収集。「助成金セミナー」の集客。

対象: 熊本県または近隣県の「環境市民活動助成金セミナー」に興味のある市民・団体・企業・行政

参加費: 一般500円、会員無料 / 参加者: 20名 / 入会者: 1団体/人

内容:

1. 組織基盤の見直しや整備を行ってから、助成申請を行う事が、組織的・社会的にもより効果的な助成獲得につながる事を押さえ、助成申請のキーワードを振り返る。
2. 1つの助成金をもとに、HPや要項から見いだす申請書の書き方も解説。
  - ・異業種、異分野活動の多い中、自己紹介から新しい出会い⇒今後の活動課題への相互アドバイスを受け合える新しい関係
  - ・就職活動を控えた学生4名の参加⇒大人の立場として質疑応答する新鮮な試みもとった
  - ・具体的な助成申請や今後の事業相談は、理事・事務局で個別対応

成果:

- ・地元県の為、日頃のQサポ活動に興味を持ち始めた方々が参加、更に活動や課題のフォローし、今後の事業への参加や入会も促したい。
- ・「助成金セミナー」自体は福岡市開催の為距離があるが、今後の更なるフォローで、一つでも多くの団体が、実際の申請・採択へ実現するように、継続して働きかけたい。

改善:

- ・事務局内の事業の定員最大が20名である事から、今後研修事業開催の場合には、会場を別に借りる、参加費の設定などについても再考が必要⇒来年は助成金セミナー前のエコラ

イフ参加費は1500～1000円の設定で企画を進めたい。

・エコライフ・カフェの開催前後にも、助成相談・事業相談が、理事・事務局にあり、実際の助成金申請に繋がる様、フォローを徹底したい。

○ 事業名：エコライフ・カフェ in 熊本

日時：2015年12月2日(水) 18:30～20:30

会場：NPO 法人九州環境サポートセンター

目的：

熊本県内の環境活動団体の情報交換・交流による、協働やゆるやかなネットワークづくり、そして新たな環境活動・啓発に向けた取り組みを創造する機会づくりなどを目的とする。

対象：熊本県または近隣県の環境NPO・企業・行政・個人

参加費：一般500円、会員無料 / 参加者：7名 / 入会者：0団体/人

内容：

活動事例紹介（2団体）

①水津元（NPO 法人龍田共育ネットワーク（龍田プレイパーク）

②澤田佳子氏（『ローカルメディア3』編集長）

珈琲ブレイクおよび名刺交換

自己紹介（A4用紙に今抱えている課題、これからの抱負記入し発表）

九州環境市民フォーラム、九州一斉環境アクションへの参加呼びかけ

各々の具体的な活動についての情報交換ができた

成果：

・話題提供者の話しを具体的に聞きたいと参加された方が多かった。

・定員に満たない7名と話題提供者の2名で交流を行った。話題提供者との情報交流の充実感を持てた。

・県北で活動される団体の参加があり、市内だけでなく、県北でもエコライフ・カフェ開催をと提案をいただいた。

・佐賀の参加者（佐賀市シティプロモーション室）も、今後の活動相談があり、佐賀県のネットワーク構築の協力体制についても話す事ができた。

改善：

・参加ターゲットを子育てジャンルに設定したが、参加希望されながら、日程が合わない方が多かった。天候の為の交流渋滞で遅刻者も多かった。今後、開催内容によっては、夕方開催だけではなく、日中、または土日の開催など、日時設定の再検討も行いたい。

○ 事業名：エコライフ・カフェ in 熊本

日時：2016年1月13日(水) 18:30～20:30

会場：NPO 法人九州環境サポートセンター

目的：

熊本県内の環境活動団体の情報交換・交流による、協働やゆるやかなネットワークづくり、そして新たな環境活動・啓発に向けた取り組みを創造する機会づくりなどを目的とする。

対象：熊本県または近隣県の環境NPO・企業・行政・個人

参加費：一般500円、会員無料 / 参加者：9名 / 入会者：0団体/人

内容：

話題提供者：宮地元氏、清水菜保子氏

珈琲ブレイクおよび名刺交換

自己紹介（A4用紙に今抱えている課題、これからの抱負記入し発表）

九州環境市民フォーラム、九州一斉環境アクションへの参加呼びかけ

各々の具体的な活動についての情報交換ができた

成果：

・宮地元さんの活動経験を聴き、現在、震災被災移住者の移住定職の支援をしており、高

齢者等の竹林整備の手伝いをしながら割り箸制作販売で収入を得る活動へ注目が集まった。今後も団体相互の協働や、Qサポの支援として活動の継続を見守って行きたい。他地域での竹林整備を希望する方への情報提供も行って行けるよう進めて行きたい。

- ・清水菜保子さんのクラウドファンディング・資金調達の可能性に興味をもって参加した人も多かった。実際の今後の活動計画や、修正する上での相談が具体的となる事を支援して行きたい。

- ・人数は多くは無かったが、参加者同士の交流を目的とした姿勢が大変活発な交流が生まれた。

- ・来月は、玉名で県北部の環境活動団体をターゲットに企画段階から参加してもらえる「エコライフ・カフェ」となるので、今後の他県での開催にも参考にし、情報交流の継続とネットワークの広がり連携活動を進めて行きたい。

改善:

- ・参加申込人数は12名を予定していたが、当日の急な欠席の為に9名に留まった。欠席者への今回の結果報告は行ったが、他事業の案内など今後のフォローにも努めたい。

#### ○ 事業名: エコライフ・カフェ in 宮崎

日時: 2016年1月16日(土) 13:30~16:30

会場: 綾町高齢者研修センター(宮崎県綾町)

目的:

宮崎県内の環境活動団体の情報交換・交流による、協働やゆるやかなネットワークづくり、そして新たな環境活動・啓発に向けた取り組みを創造する機会づくりなどを目的とする。

対象: 主に地球温暖化防止推進委員を背景とする活動団体

参加費: 無料 / 参加者: 16名 / 入会者: 0団体/人

協力: 宮崎県、宮崎県地球温暖化防止活動推進センター

内容

##### 1. 「地域資源を活かした温暖化防止の取り組み」

事例発表: NPO 法人宮崎文化本舗代表石田達也氏

COP21の課題とオーストリア・ギッシングの事例説明~綾町で何ができるかについて

##### 2. 『エネルギー自給率100%でどう変わる? 私たちの未来!』

事例発表: 兎洞武揚氏株式会社博報堂ブランドデザイン副代表

ワールドカフェ形式、内容について何を感じたかを話し書き出すQサポ事業と支援について

成果:

- ・最新の温暖化の情報や、海外の事例について学ぶ事ができた。

- ・兎洞氏の講演・ワークショップは、地域への様々なアプローチ方法について学ぶ事ができ、参加者のみならず、事務局の自分たちの活動についても見直せた。

- ・質問や意見も活発に出され、「時間不足」「もっと聞きたかった」という声も挙がっていた。

改善:

- ・今回は、クローズの推進員対象の場であったので、参加人数も多くはなかったが、推進員の活動についてや、一部環境活動団体にも出逢える場となった。来年度は、宮崎県の他の地域の団体分布の把握も務め、訪問し、地球温暖化防止活動推進センターとの連携に加えて、オープンなエコライフ・カフェの検討も進めて行きたい。

- ・今後も他分野の活動団体にも広く声かけをし、宮崎県内の環境保全等に取り組む団体や企業らとのネットワーク構築と、そのニーズの把握を進めて行きたい。

#### ○ 事業名: エコライフ・カフェ in ながさき

日時: 2016年2月4日(水) 18:30~20:30



会場：出島交流会館第1会議室

目的：

長崎県内の環境活動団体の情報交換・交流による、協働やゆるやかなネットワークづくり、そして新たな環境活動・啓発に向けた取り組みを創造する機会づくりなどを目的とする。

対：象長崎県内の環境NPO・企業・行政・個人

参加費：一般500円、会員無料 / 参加者：12名 / 入会者：1団体/人

共催・協力共催：環境保全教育研究所、協力：ECAN、長崎県

内容：

◆ワークショップ

「自分の団体の資源と課題を見つめ直そう！」（環境保全教育活動研究所 豊田理事）

①自身の団体の資源・課題を見つめ直す

②参加者同士のネットワークをつくり

③環境NPO等の活動研究、ニーズを知る

—自分自身の資源についてを考えた後、ワークシート[1]ワークシート[2]を各自で書き込み、自分たちの課題を見つめる

事業説明の後、九州一斉環境アクション、及び、各県のエコライフ・カフェ（玉名・大分・佐賀）へ参加呼びかけ

成果：

・海ごみ問題に取り組む学生（ながさき海援隊）、自治会中心に地域のほたる生息地の川保全中心に活動する方（三和町ふるさとづくり委員会）、竹林整備継続に尽力される方々（長崎グリーンヘルパーの会）、森で子どもの環境教育や食育の団体（自然共育コミュニティ森のわ）、団体事務局の運営、ESDの普及の為の情報収集等、各種の環境活動に取り組む団体や行政が幅広く参加されました。互いの課題解決のアドバイスも出て、活発な議論となりました。

・一斉環境アクションには、竹林整備、川保全の二つの団体がエントリー、入会した団体も検討、長崎はこれで4団体の参加予定。

・交流会でも、相談など活発に議論が進められ、遅くまで相互の情報交換を行っていた。今後の問題解決まで、長崎の理事とともに、フォローして行きたい。

改善：

・佐世保、島原の団体のリサーチが弱いので継続して調査していく必要がある。会員からの情報も大変協力的なので、ネットワークの構築をしながら、必要な情報の共有を行い、支援の必要な団体をリサーチ働きかけて行きたい。

・今回参加者から時間が足りなかったという声もあった。内容的にも、通常の交流会以上に、セミナーとして開催するというのでいいのではないかと感じた。参加者の要望もみながら、検討して行きたい。年に一回という頻度も改善して行きたい。

○ 事業名：エコライフ・カフェ in 玉名・熊本

日時：2016年2月10日(水) 18:30~20:30

会場：だんぎどころ（熊本県玉名市高瀬158-2）

目的：

①熊本県北の交流を深める

②課題と優良事例の把握

③Qサポネットワークの形成

対象：熊本県北の環境NPOや個人・企業・行政等

参加費：一般500円、会員無料 / 参加者：10名 / 入会者：0団体/人

共催・協力協力：正会員徳永信介氏、だんぎどころ宮部和雄

スタッフ園田理事、立山、三澤

内容：

事例発表として、県北3団体（NPO法人あめのゆみ、一般社団法人夢・理想の里、NPO法人きらり水源村）が発表を行った。

あめのゆみ栽培の米と野菜のふるまい、参加者の持寄り等で交流会

成果：

- ・県北で協働で活動を進めてきている団体が、更なるネットワークと協働事業の可能性を見つめるための拡大を希望され、エコライフ・カフェで同席した団体同士のコラボがまた一つ繋がったと報告があった。追加報告を期待したい。
- ・地域おこし活動の団体より、竹林整備の際の竹の活用について収益事業へどのように結び付けるかの相談があった。今後、佐賀のかいろう基山で取組中の事例など紹介出来るように繋げていきたい。
- ・有明海を囲む4県の海環境保全活動をする高校教諭の参加があり、熊本と福岡の連携が出来つつあるので、今後佐賀、長崎とも繋がれるようなきっかけが欲しいと相談された。
- ・九州一斉環境アクションへ、荒尾高校教諭から積極的に参加を希望いただいた。今後の開催の詳細を詰めて行きたい。

課題：

- ・3団体の事例紹介のボリュームが大きく、2団体にし、次回開催時の発表団体を決定するなどの流れを明確にすべきだった。
- ・九州一斉環境アクションへの興味は持っていただけたが、各団体のどの様な活動に合わせて貰うのかは、ここへの働きかけがもう一つ必要と感じられた。
- ・次回の開催場所と大まかな時期について話し合えなかった。

改善：

- ・次年度は熊本県エコライフ・カフェを、県北、天草等拠点を増やし、各地次の開催時の事例発表団体等、交流内容を決定する事を必ず盛り込む。
- ・参加者へは、他事業への参加や、地域の新しい連携などが実現したかどうか等フォローを欠かさず行い、記録および、広報支援を行う。

#### ○ 事業名：エコライフ・カフェ in 大分

日時：2016年2月20日(土) 14:00~16:45

会場：ホルトホール大分 405 会議室 (大分市金池南一丁目5番1号)

目的：

大分県内の環境活動団体の情報交換・交流による、協働やゆるやかなネットワークづくり、そして新たな環境活動・啓発に向けた取り組みを創造する機会づくりなどを目的とする。対象環境 NPO や、これから環境活動をはじめようとする団体・個人、企業・行政等

参加費：一般 1000 円、会員 800 円 / 参加者：8 名 / 入会者：0 団体/人

内容：

話題提供①

『世界水フォーラム』報告 山下理事

環境団体事例紹介『”水”について』(NPO 法人おおいたの水と生活を考える会)

話題提供②

『おおいた環境こよみづくりワーク』エコお菓子を食べながら～ 地球温暖化防止の取組みと環境家計簿実践(IPCC コミュニケーター)

成果：

- ・エコライフ・カフェの様な情報交流会の場で、学びや繋がり作りを期待した参加者ばかりであったため、ワークショップの際にも積極的な提案が多く出された。
- ・大分の「生活用水の確保の為に活動、技術支援や啓発活動」「竹林整備をはじめとする多様な活動」「有機農業」「地球温暖化対策」等、様々な活動分野からの参加があった為、それぞれの活動の立場からの意見交換がされた。
- ・大分市からのみならず、九重からも2名参加があり、次回の開催地は、九重でという提案も出、次回へ繋げるエコライフ・カフェの雰囲気作りも出来ていた。
- ・「水源地を守る広域ネットワーク構築」「環境に関するイベントやセミナーの開催」「エコ活動について具体的に知る事ができた」等、求める事を見つけ出せたという意見を得る事ができた。今後もフォローをして行きたい。

改善:

- ・時間に対してプログラムが多かった。
- ・参加者の自己紹介をして貰う十分な時間が持てればよかった。
- ・「地球温暖化対策」の話しについては周知している参加者が殆どだったため、もっと深い内容を希望される参加者もいた。
- ・実際に参加して貰えたこの機会を来年度へも繋げ、大分県の活動団体や個人との繋がり  
の層を広げて、Q サポの支援を必要としている団体を見出だして行きたい。
- ・大分市、九重以外の市町村の活動団体の調査も引き続き続け、来年度の事業の広報へ繋  
げたい。

○ 事業名: エコライフ・カフェ in 佐賀

日時: 2016年2月23日(火) 13:30~15:00

会場: 小城市まちなか市民交流プラザ (小城氏小城町 253? 1)

目的:

佐賀県内の環境活動団体の情報交換・交流による、協働やゆるやかなネットワークづくり、  
そして新たな環境活動・啓発に向けた取り組みを創造する機会づくりなどを目的とする。

対象: 主に地球温暖化防止推進委員を背景とする活動団体

参加費: 無料 / 参加者: 8名 / 入会者: 0 団体/人

共催・協力佐賀県地球温暖化防止活動推進センター

内容:

参加者事例紹介を含めた自己紹介

環境活動団体の持つ課題の共有

九州環境サポートセンターの事業告知と来年度の「一斉アクション」参加の呼びかけ、な  
ど

成果:

- ・各参加者・団体の通常の活動をご紹介いただき、佐賀における環境活動の把握
- ・行政とのコミュニケーションと理解について NPO 側の姿勢が課題であり、行政側の NPO  
に対する理解不足と怠慢(事なかれ)を危惧する意見もある
- ・協働のためには同じ土俵同じ物差しを持つ・理解する必要がある。
- ・活動を理解していただくためには新しい価値観、価値指標を作ること、そのための広報  
が重要である
- ・中間支援団体には、活動団体の現実の情報と成果を行政に伝える仕組みづくりを求めて  
いる

改善:

- ・今回クローズでの推進員対象であったことから、少人数となった。いい情報把握の場にな  
ったがネットワークを更に広げるためには、他の中間支援等との協働開催も視野にする  
必要がある。もしくは、2回実施にし、オープンとクローズの良い点を引き出す仕組みも  
検討の余地がある。

◆ 第12回九州環境市民フォーラム in かごしま

[事業概要]

日時: 2016年1月23日(土) 13:00~18:00 1月24日(日) 9:30~11:00

会場: かごしま環境未来館(鹿児島市城西二丁目1-5)

目的:

- 九州全域のネットワークの形成
- 市民団体の活動意欲を喚起
- 九州の各環境市民活動団体等の抱える問題を共有し、改善を図る

対象: 環境活動を実施もしくは興味関心のある個人・団体・企業・行政・教育機関等

参加費：一般 1,000 円（会員価格 500 円）学生 500 円

参加者：のべ 153 名（1 日目 133 名 + 2 日目 20 名 ※2 日目豪雪の為時間短縮しての開催）

入会者：1 団体/人

共催・協力

一般財団法人セブン・イレブン記念財団、公益財団かごしま環境未来財団、鹿児島市、各マスコミ他、協賛スポンサーあり

スタッフ：当理事・スタッフ・会員ボランティア、かごしま環境未来財団スタッフ 20 名

内容：

#### 1 日目 (1/23)

##### ■開会あいさつ

##### ■基調講演 木村秋則氏

講演内容：無農薬・無施肥のリンゴ栽培に成功するまでの体験と自然栽培を広げていくための協働の取組事例、その課題と今後について講演。

##### ■事例紹介：

NPO 法人かごしま市民環境会議 村山つねこ氏

NPO 法人環境カウンセリング協会長崎 浅田要一郎氏

NPO 法人桜島ミュージアム 福島大輔氏

NPO 法人かいろう基山 松原幸孝氏

公益財団法人かごしま環境未来財団 塩川哲郎理事

##### ■分科会（五つに分かれて開催）

##### ①環境教育について

コーディネーター：川野智美理事（九重ふるさと自然学校）

話題提供者：木之下勇一氏（もりはやし倶楽部）

##### ②温暖化対策について

コーディネーター：宮原美智子理事（NPO 法人くまもと温暖化対策センター）

話題提供者：（児島市環境政策課、かりんサポートセンター）

##### ③森林の保全について

コーディネーター：豊田菜々子理事（NPO 法人環境保全教育研究所）

話題提供者：松原幸孝（NPO 法人かいろう基山）

##### ④ごみ問題について

コーディネーター：浅田要一郎氏（NPO 法人環境カウンセリング協会長崎）

話題提供者：関氏（環境パートナーシップかごしま）

##### ⑤食と農について

コーディネーター：植本阿良樹理事（手光えこびれっじ S・O・I・L）

話題提供者：平由以子氏（NPO 法人循環生活研究所）

#### 2 日目 (1/24)

積雪の為、参加者のほとんどが来館出来ず、全体（参加者、分科会担当者、理事、事務局含め）で分科会まとめ、及び発表と、個々の宣言を行った。

##### ■分科会まとめ

各分科会に分かれ、前日話し合われた事をまとめて発表を行った。

①環境教育について②温暖化対策について③森林の保全について④ごみ問題について⑤食と農について

成果：

- ・今後の九州環境市民フォーラム分科会の方向性の整理
- ・話題提供者等や参加者を含めたネットワークの形成

改善：

- ・実行委員会形式での参加者巻き込みや企画づくりとしたい
- ・参加費を事前振込みとするか検討

##### ◆全体のまとめ

協働には・・・

- ・共通の目的を持ち、対等でみんな Happy!! の関係を！！
- ・価値観の統一
- ・顔を合わせる、思いを合わせることがポイント！
- ・お互いを知り、強みを活かすしくみ・場づくり
- ・情報の発信・コントロールが大切

■個々の宣言アピール、それぞれ A 4 の紙に宣言を書き込み発表

■終了の挨拶

■2016 年度市民フォーラムについて（佐賀県理事）

◆アンケート回答、個別に宣言のシートを持って撮影

■集合写真撮影、解散

●参加者より、市民フォーラムがこのまま単年度で終わりにならない為にも、

「Facebook に双方向で継続して情報交換が出来る場のページを開設して欲しい」という要望が出た。

※別紙「報告書」添付

○平成 27 年度「『お金の地産地消白書 2014』を読む会」 in 熊本  
目的

人口減少や少子高齢化で、今後行政はますます財政難となっていく中、地域の課題解決には、地域の金融機関が大きなカギを握っていると考えられる。地元金融機関と協働し、NPO 支援を行ってきた愛知「コミュニティ・ユース・バンク・momo」が、事例やデーター・専門家の声などをまとめた「お金の地産地消白書 2014」に学びながら、地域金融機関が NPO 支援に本気で参加できるための仕組みづくりやアクションについて参加者と共に考え合う場としたい。

プログラム

ファシリテーター：木村真樹氏（コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事）

- ・『お金の地産地消白書 2014』を読む
- ・『お金の地産地消白書 2014』について話し合う
- ・『お金の地産地消白書 2014』の解説を聞く
- ・『お金の地産地消白書 2014』の感想や質問を寄せる

日時平成 27 年 4 月 26 日（日）14：00～17：00 ※受付 13：30～

場所：山ぼうしの樹（熊本県上益城郡甲佐町糸田 136）

参加対象：NPO・地域金融・行政関係者

関心ある方

参加費：1,500 円（会員 1,000 円）

目標参加者数：20 名参加人数 24 名 / 資料代（白書）1,000 円

実施体制

主催：一般社団法人ゆずり葉日本ファンドレイジング協会九州チャプター

共催：NPO 法人九州環境サポートセンター

当日スケジュール

12：30 集合（打ち合わせ、設営）

13：30 受付開始

14：00 開会・開会挨拶…10 分

14：10 「お金の地産地消白書 2014」を読む会

16：10 質疑応答・意見交換

16：30 ゆずり葉・九州環境サポートセンター・九州チャプターの紹介

日本政策金融公庫の融資案内アンケート記入・閉会挨拶

17：00 閉会・片付け

役割分担

日本ファンドレイジング協会九州チャプター ファンドレイジング協会申請書提出  
一般社団法人ゆずり葉 会場・受付・会計・交流会手配  
NPO 法人九州環境サポートセンター 企画・講師との調整・事務・運営  
交流会

参加費 2,000 (15名)

17:30—20:00 終了

\*食事の手配

開催までのスケジュール

3月17日(火) 企画決定・チラシ完成告知・勧誘開始

3月17日(月) (随時、参加申込状況を共有)

4月6日(月) スタッフ打ち合わせ

4月21日(火) 参加締切

4月26日(日) 開催

\*日本ファンドレイジング協会認定研修—選択研修2ポイント付与

## ○NPO 法人事務力アップセミナー&NPO 法人事務力検定(初級)

### ●目的:

岡山 NPO センターが全国で実施している(平成 27 年度は全国 20 件で開催)どの NPO にも共通する事務作業を「検定」という形で整理することにより、事務局内での業務引継ぎや人材育成などに活用できるようにセミナーと検定を実施することにより、事務局のスキルアップを目指すことを目的に実施。

### ●主催・共催: NPO 法人九州環境サポートセンター

特定非営利活動法人岡山 NPO センター

### ●講師:

特定非営利活動法人岡山 NPO センター NPO 事務支援センターセンター長加藤彰子さん

### ●日時: 平成 28 年 2 月 15 日(月) 10:00~17:15 (受付 9:30~)

### ●会場: くまもと県民交流館パレア第 4 会議

### ●参加費:

事務力アップセミナー+検定(3,000 円) 事務力アップセミナーのみ(2,500 円)

事務力検定試験のみ(1,000 円)

### ●講座内容: ①事務力アップセミナー 10:00~15:30

定款・所轄庁手続き(定款の読み方)

法務局手続き(法務局手続き・登記事項証明書等)

雇用と給与計算(実務的な労務会計の手続き等)

会計・決算(NPO 日頃の会計業務・決算等)

②事務力検定試験(初級) 15:45~16:45 (60 分)

③検定問題解説 16:45~ (30 分)

### ●参加者数: セミナー 8 名(検定 7 名) \*検定は 7 名全員合格

パレア NPO 関係担当事務スタッフ 1 名・未来サポート代表

一般社団法人ゆずり葉代表・会員

特定非営利活動法人有機農業研究会事務スタッフ 2 名

九州環境サポートセンター宮原・立山

・セミナー参加のみ家庭的保育室ぴちゅ代表

### ●参加者からの感想:

「1 日での開催はちょっとハードであったが、事務局運営に必要な内容がよくわかった。」「団体を立ち上げる前に、このセミナーを聞いておけばよかった」「事務局が学ぶが欲しかったので参加させた」など

●事務局のスキルアップを図るために開催を企画。当初は、県・市の市民活動センターと共同で開催予定で企画を進めていたが、佐賀・福岡・熊本で連続した日程で開催することになり、日程の都合上共催が難しくなったが、来年度は共催で開催するため調整中。

#### 【4】市民団体の研修に関する事業

助成制度について説明を受け、助成金のしくみや、助成団体が助成金を出す目的など、興味のある助成団体の担当者や他の参加者と情報交換を行うことで理解を深める。そして、より多くの団体が上手に助成金を活用し活動を発展させていくことを目的とし、自身の団体に合う助成制度を判断することが出来る、申請書が書けるようになる、実際に申請することを本開催の目標とする。事業名：環境市民活動助成金セミナー（福岡）

開催日：平成27年11月7日（土）13：00～17：00 ※受付12：30～

会場：和白地域交流センター（コミセンわじろ）5階 多目的ホール  
（福岡市東区和白丘1丁目22-27 TEL：092-608-8480）

実施体制

<主催>NPO法人九州環境サポートセンター／一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

<協力>手光えこびれっじS・O・I・L、土居自然学校、

参加者：35名 / 入会 1団体/人

対象：助成金申請を今年～来年予定してるが、どうしたらいいか明確になっていない初心者。まだ数回しか申請をしていない、助成金を受けた事が数回しかない中級者。など

#### ■11：30～12：00頃 関係者打ち合わせ

<12：30 受付開始>

#### ■13：00～13：10 開会

開会挨拶 NPO法人九州環境サポートセンター理事長 宮原 美智子

当団体紹介 事務局 立山

#### ■13：10～14：45 助成制度説明会

各助成担当者より、助成制度の概要、募集要項、申請ポイント、今後のスケジュール等について説明。（20分×5団体）

13：15～13：35 ①TOTO株式会社

13：35～13：55 ②九州ろうきん

13：55～14：15 ③エフ・コープ

<10分休憩>

14：25～14：45 ④独立行政法人環境再生保全機構

14：45～15：05 ⑤一般財団法人セブン-イレブン記念財団

#### ■15：05～15：25 質疑応答

助成担当者と参加者で情報交換。「助成制度説明会」の質疑、参加者と助成団体とのマッチング、助成申請初心者の参加者は他団体の話を聞いて情報収集

#### ■15：25～15：35 閉会式

※スクール形式からブース形式へ会場レイアウト変更。

#### ■15：45～16：45 個別相談会 ※自由参加

既に助成申請準備中の参加者が助成担当者と1対1で直接相談できる他、中間支援ブースで申請書の書き方についても相談できる時間。

助成申請をしてみたい助成制度について

- ・団体の活動内容。（NPO法人エコけん / エフコープ、九州ろうきん）
- ・組織強化について、人材不足の為（NPO法人遠賀川流域住民の会 / 環境再生保全機構）
- ・佐賀県内の活動としている為、エフコープ以外は、申請してみたい。（NPO法人さかの樹エコトープSATOMORI / TOTO、九州ろうきん、環境再生保全機構、セブン）
- ・2014年に植花助成を受けておりましたが、今年度、活動助成の申込可能かどうか。（NPO法人緑のキャラバン隊、セブン）
- ・対象になり得る。（ローカルメディア3 / 九州ろうきん、セブン）

その他ご意見等

- ・ありがとうございました。セミナー内容だけでなく、配布資料等、参考になりました。(九州環境パートナーシップオフィス (EPO 九州))
- ・今後何らかの連動ができれば良いと思う。(天草市中間支援機関より)
- ・いつもありがとうございます。(会員より)

## (2) ふりかえり・改善策

### 【助成団体より】

- ・参加者の集中力が続かないので、各助成団体の発表時間は10分程度が適切ではないか？
- ・発表前に参加団体のリストを受取っていれば、個別説明会で来られた時に分かって良かった。(TOTO様)
- ・参加者の様子を見てみると、制度内容にもっと踏み込んだ資料が好ましかったと感じた。
- ・発表時のパソコンの操作は発表者が行った方が発表しやすい。(エフコープ様)
- ・申請書について言及するなど、発表項目は統一した方が好ましい。(九州ろうきん様)
- ・発表時にポインターがあったら良かった(環境再生保全機構様)

### 【事務局内】

- ・助成団体との事前打合せ段取り、担当割り振りをもっと細かく打合せすべきだった、時間に追われていた。
- ・セミナー会場の図面(レイアウト)を事前に作成していればもっとスムーズだった。
- ・助成金申請を前提とした意欲のある環境団体の参加が多かった。
- ・まだ申請の準備が出来ていない団体にも、助成団体と直接話せる貴重な機会だったので、更に積極的に参加してもらえる流れを事前から作れるように工夫して行きたい。
- ・セブン萩原様、理事の皆さまの御協力がいただけた御蔭で、資料準備、受付、質問のマイク渡し、個別質問会の誘導などスムーズに行う事が出来た。
- ・資料の準備など、各机の上に置き配布する形にするのであれば、事務局内ですべてをセットにするなど、準備を十分に行えれば良かった。
- ・プレゼンであずかった各助成団体・事務局のデータ準備の他にUSBに予備データを持参していて良かった。万が一のためにも、予備データの保管を考慮したい。
- ・後日早速、参加団体から申請(セブーンイレブン)についてしたいと相談があり対応しています。

## 【5】その他、相談・コンサルティング及び調査・研究・提言に関する事業

### [目的]

NPO 団体などからの相談に対して、組織や活動へのコンサルティング、アドバイス、事業コーディネート、団体や相談機関などの紹介ネットワーク、各相談に合わせた専門家の紹介などを行います。

また、行政・企業・NPO 等の様々な情報収集を行うとともに、NPO の現状を把握し、活動促進や協働促進を進める為の仕組みづくりを提案します。

### [実施対象]

環境市民団体など 35件

### [相談内容]

- ビオトープ作成に関する相談
- NPO設立に関する相談
- 助成金申請相談
- 事業立ち上げ相談
- 組織力アップ相談
- 人材育成相談
- 資源活用相談
- 自然保護(ホテル環境保全)に関する相談



公園管理に関する相談  
 NPOネットワークミーティングの相談  
 環境マルシェ運営に関する相談  
 ファンドレイジング相談  
 河川教育に関する相談  
 環境教育実施についての施設相談  
 大学連携相談  
 環境NPO就業相談  
 他

**【6】 環境NPO・人材データベース**

[目的]九州全域の環境団体情報を集積することにより、ニーズの収集と環境団体の現状の把握を行い、さまざまな事業に反映させていく他、行政・企業への企画やコラボ提案の基盤づくりを行う。

また、7つの支援について分析提案を行う。

[実施対象]

環境市民団体および個人など

[調査項目]

以下のものを整理しデータベースを活きたデータとする。

- ・名称（氏名）      ・活動      ・エリア      ・開始日      ・組織形態      ・実績
- ・助成暦      ・表彰暦      ・組織予算規模      ・7つの資源
- ・優良事例      ・講師の可能性      ・他

[実施結果]

現在データベース収集している環境団体リストは以下のとおり

今後は調査項目の詳細について追加調査が必要である。

県別	リスト数
福岡	268
佐賀	159
長崎	254
熊本	697
大分	293
宮崎	258
鹿児島	320
合計	2249

種別	リスト数
団体	1847
個人	99
行政	109
企業	100
金融	3
報道	6
教育機関・学生	84
政治団体	1
合計	2249